

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○令和1(2019)年度 第2回「健笑庵のぎ」運営推進会議

対象事業者名 : (有) ケアサポートことぶき「健笑庵のぎ」
 サービス種類 : 地域密着通所介護事業所
 開催日 : 令和2年1月24日(金) 午後2時30分～午後4時
 開催場所 : 健笑庵のぎ 1階 談話室
 出席者 : 9名 《内訳》

事業所	3名	利用者	1名
利用者家族	1名	地域代表者	2名
松江市職員	1名	包括支援センター	0名
知見を有する者	1名	その他	0名

【議事・議題】

1. 活動等の状況

①通所事業の現状

◆登録者数(令和1年12月現在): 42名(うち男性5名、女性37名)

◆介護度別利用者数(令和1年12月現在)

《サービス区分、介護度別の状況》

総合事業通所サービス	該当者	1名	地域密着型通所介護事業	要介護1	25名
	要支援1	5名		要介護2	3名
	要支援2	3名		要介護3	3名
制度外(実費)利用者		0名		要介護4	0名
				要介護5	1名
				申請中	1名

◆各月利用数

- 令和1年7月 (361名) ○ 令和1年8月 (334名)
- 令和1年9月 (331名) ○ 令和1年10月 (369名)
- 令和1年11月 (347名) ○ 令和1年11月 (329名)

②活動報告

◆誕生会 (誕生日の一番近い利用日に実施)

◆レクリエーション (季節に合わせたものや、要望に応えたもの)

- ・すいかボーリング ・七夕飾り ・ぼた餅作り ・曜日対抗大玉転がし大会 ・マロンケーキ作り
- ・クリスマス会 ・忘年会 ・喫茶週間(メニューの中から好きなものを選んで頂き提供する)
- ・敬老週間(職員からの手紙配布、花束贈呈、キーホルダー作成等)

③日曜デイサービス(月1回)

- 令和1年7・8月 納涼会(ボランティアの方による余興、映画鑑賞)
- 令和1年9・10月 季節の花観賞(しまね花の郷へ外出)
- 令和1年11月 (設定なし)
- 令和1年12月 そば打ち体験(熊野ふるさと館にてそば打ち体験)

④社会参加活動(介護保険外活動)

- 令和1年7月 荒神谷史跡公園ハス観賞 1班(3名) 2班(4名)
- 令和1年8月 松江テルサプラネタリウム観賞 1班(3名) 2班(2名)
- 令和1年9月 倉吉なしっこ館見学 1班(3名) 2班(2名)
- 令和1年10月 安来みかん狩り体験 1班(4名)
- 令和1年12月 島根県立美術館「日本伝統工芸展」観賞 1班(4名)

⑤その他活動

- ・ことぶき交流親睦会: 11月24日(日)ことぶき望年会(すいてんかく) 24名(内、ご家族7名)参加
- ・防災訓練(1回/月) ・野菜作り(屋外畑)活動 ・調理(味噌汁作り、おやつ作り)活動

- ・洗濯物（おしぼり、タオル）たたみ

2. 相談および苦情受付状況・事故報告

①相談

[担当ケアマネージャーより]

ご利用者様（要介護 1・認知症あり・独居）が不穏状態続いており、各金融機関へ電話を頻繁にして、ご家族がその後の対応に追われている。困っておられるので、ご利用日以外での利用を臨時的に受けてもらえないか、との依頼があった。

(状況)

当事業所へもご本人様から利用日、利用日以外問わず度々お電話があり、ご自宅へ来てくれとの要望もあった。以前より金銭面での不安があると長期にわたり不穏状態が続く事があり、ご家族の介護負担増の原因の一つとなりグループホームへの入所も経験されている。ご本人様の自宅生活への強い希望のため自宅復帰をされたが、就業しておられるご家族様の負担は、かなり大きく、またお一人で日中おられる事への不安が強かった。

(対応)

その様な背景もあり、出来るだけ臨時利用を受け容れる事と、ご家族と連絡・連帯の時間ロスが少ないようにメールなどを活用し、速やかに対応するようにした。

②苦情受付なし

③事故報告なし

3. 研修会および勉強会等

①職員会議 : 1回/月 ②ケース検討会 : 2回/月 ③勉強会 : 1回/月

4. ボランティア受入の状況

・お話し相手 : 1回/週 ・紙芝居 : 1回/2ヵ月 ・囲碁相手 : 1回/週

5. 質疑・応答:

Q: 地域の方とのトラブルや関係はどうか?

A: 20年近くこの地で事業をさせて頂いているが、大きなトラブルはない。本当に地域の方にもよくして頂いている。おかげで、事業を継続することが出来ている。また、送迎に関わる車両の出し入れが頻繁なことから交通安全に対しては十分に配慮するよう努めている。施設前の市道は道幅も狭いわりに近年は交通量が増えている。そのこともあり送迎時の運転ルール、マナーには細心の注意を払うように職員間で申し送りを行っている。

【意見交換】

- ◎地域代表者(地区民生員): 最近、若年層(50代~)の方や介護保険がまだ使用できない方の相談が増えてきたように感じるが、直接地域包括へ相談する人が多くなった。
- ◎地域代表者(自治会役員): 防災活動は、地域の方でも訓練の案内があるため参加している。またこの周辺は道路が狭いが交通量は多い方。お互いが待つことや、お礼がし合えるのを見るとこちらも気持ちが良い。今後もこのような地域でありたい。
- ◎松江市職員: 今後は総合事業の対応に力を入れていきたいと思っている。現在はサービスの料金の事や施設入所希望に関する質問が増えてきている。
健康面に関しては、出雲方面でインフルエンザ流行している。手洗い、うがい、アルコール消毒等を使ってしっかり予防を行ってほしい。
- ◎知見有識者: 軽度の方の問い合わせは減少傾向にあるように感じている。完治しないまま退院される方もおられ、その点では重度の方のご利用が多い。(点滴希望、リハビリ継続希望等)
- ◎利用者家族: 現在妻が週2回のリハビリに通っているが、3月末で終了になる。体の状態が悪くなるのは一瞬なのに、回復するには時間がかかる。4月からは何もしないのが心配で、それ以降のいい方法を考えている。何か出来るといいなと思っている。
- ◎利用者: レクやゲーム、お菓子作り等沢山の事を経験出来て楽しい。夏に食べたかき氷は本当に良かった。その後の体調も良くなり、こもっていた熱が消えたようだった。家では、主人にデイでの事をよく話しているし、ゲームの練習をすることも。年に伴い、身体機能も低下しているため主人には色々なことを手伝ってもらい感謝している。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○